

# 陣内俊 Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESIGN WORKS /2008/All Rights Reserved

2011年12月-2012年1月号  
Vol.23

## 支援者の皆様へ

### 2011年を振り返って

支援者の皆様、いつも温かいお祈りと尊いご支援をありがとうございます。南アフリカでのDNAフォーラムとエチオピアでのストリートチルドレン支援の働きとの相互依存型パートナーシップ構築のためにアフリカを訪れる2月、3月の渡航準備から始まった2011年は、私にとって、そしておそらく、ほとんどの日本人にとっても特別な一年となりました。

3月11日、エチオピアのアジスアベバで、私は震災のニュースを聞きました。「かつて経験したことのないことが起こっている」ということを感じました（現在もそれは進行中ですが）。エチオピアの若者たちが日本のために捧げてくれた2,963ブル（170米ドル）は、田舎に住むエチオピア人の年収に当たる金額でした（写真は日本のために涙を流し祈るエチオピアの仲間たち）。日本に戻り、3月から12月までの9か月間は、殆ど毎月、合計13回福島県を訪問し、震災支援活動を行ってきました。支援活動を通じて学ばされたことを一言で表現するのは難しいですが、経済成長を「幸せの大前提」とし、「何のために生きるのか」という問いが不在なまま「安全、安心、安定」を半ばヒステリックに求めてきた、私たち日本人の生き方を問い直されている、ということ強く感じています。リスクを冒し、犠牲を払い、与えられた人生を使って神と人に仕えているエチオピアの仲間を通して、私はまだまだ多くを神様から学ぶ必要があると思われています。



## 活動報告

### 奉仕と活動（10月～11月）

皆様の祈りに支えられ次の場所で奉仕させていただきました。関係した方々に感謝いたします。

月日	内容	場所
10月2日	礼拝メッセージ	I C B C (蒲郡市)
10月17~25日	活動報告および事務作業など	札幌市
11月5日	隣人を愛する習慣作りセミナー	高座教会 (大和市)
11月12日	C T C授業	練馬グレースチャペル (練馬区)
11月14~17日	震災支援活動	福島県各地
11月19~12月5日	沖縄巡回	宮古島市、那覇市など (沖縄県)
継続的に	全人宣教フォローアップと励まし	練馬など国内各地

## 大切にしたいこと

### 4年間の振り返りと今後の展望

私は沖縄でこのレターを書いています。2007年11月に神田師の沖縄での奉仕に同行して以来、まる4年間の年月が経ちました。「給料は出ない」という条件で神田師の「弟子入り」をした当初、本当に生活して行けるのかどうか恐ろしくもありました。本当に少しずつ学習し慣れてきてはいますが、今でも毎月、「来月どうなっているか分からない」という不確実性を背負いながら生活しているという意味では、公務員をしていた2007年とは明らかに違います。しかしながらこの4年間、レターを読み、祈り、支えてくださる方々の「支える会」への支援金が、私がひと月に必要とする生活費を割ることはありませんでした。このことを考えるとき、旧約聖書の「エリヤを養ったやもめ」の話を改めて思い出し、「必要を満たしてくださり養ってくださる」と約束された主の真実の前にへりくだり、皆様の祈りに感謝せずにはられません。

「主のことばのとおり、かめの粉は尽きず、つぼの油はなくならなかった。」I列王記 17:16

「だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。」マタイ 6:33

この4年間、私は神田師、柳沢姉をはじめとする先輩方や海外の友人たち、また自らの宣教の実践と団体の働きを通し、神様から多くのことを教えていただきました。その中で最も大切だと思われている「原則」を、現時点で皆さんに紹介したいと思いました。また、そうすることが私の働きが次の段階に展開してゆくための足掛かりとなれば、と願っています。

### 愛することは「踏み越える」ことを含む

愛の行動は、それがどんなに小さなものであっても、「自分の居心地の良い場所」を踏み越えるという要素を含む、ということがその原則です。これを最初に教えてくれたのは、インドの地域変革者バルー氏と、そのスタッフであるリナさんでした。バルー氏は、便利で住環境が整っている都市部に住むのではなく、「最も貧しく虐げられた方々」に仕えるために、最も貧しい方々の中に住むことを10年以上にもわたり選んできました。マラリアなどの伝染病、医療へのアクセスのなさ、安全な水や電気の安定供給が保障されないというデメリットよりも、「貧しい方々に仕える」という特権を貴いと彼は考えました。「他の人がしたいと思うような魅力的な働きは、他の人がすればよい。誰もしたくないと思うようなことだから、私がやる価値がある。」と言った彼の言葉に、私は今も励まされ続けています。バルー氏の生き方に感動し、虐げられたアウトカーストの出身からキリスト教に改宗し、村々を渡り歩き識字教育の奉仕をしているリナさん（現在25歳）は、「98%の女性が生まれて死ぬまで自分の村から一歩も外に出ない」という文化的障壁を乗り越え、村落の中で宣教師のように人々に仕えています。

日本国内でも同じことを教えられました。自らも被災しながら地域の方々に仕えている福島の人々は「居心地の良い場所」の境界線を踏み越えていました。小さな愛の行動をする実践者たちの、「ゴミをひとつ拾う」、「孤独な隣人に話しかける」という最も小さな行動ですら、踏み越えるという要素を含んでいました。

私自身がすぐに安住、停滞するような者なので良く分かるのですが、人間には自らが居心地良い場所を作り、そこから出たくない、と思う習性があります。これは生存本能のひとつであり、必要なものでもあります。しかし「愛する」ということを考えるとき、「居心地の良い場所を出て、その境界線を踏み越えてリスクを冒す」という要素を含まないでそれをするには出来ないのではないか、というのがこの4年間、様々な場所で活動する方々を通して私が到達した結論でした。

聖書に有名な「善きサマリヤ人の喩え」が出てきます。これは「私の隣人とは誰のことですか？（ルカ 10：29）」という、律法の専門家の質問に対するイエス様の答えでした。強盗に襲われ、道で行き倒れになっている旅人を見た祭司、レビ人は道の反対側を通り過ぎるのですが、ユダヤ人から異教徒と見下されていたサマリヤ人が旅人を介抱する、という話をされた後に、「誰がこの人の隣人になったと思いますか？（ルカ 10：36）」とイエス様は尋ね、言います。「あなたも行って同じようにしなさい（ルカ 10：37）。」

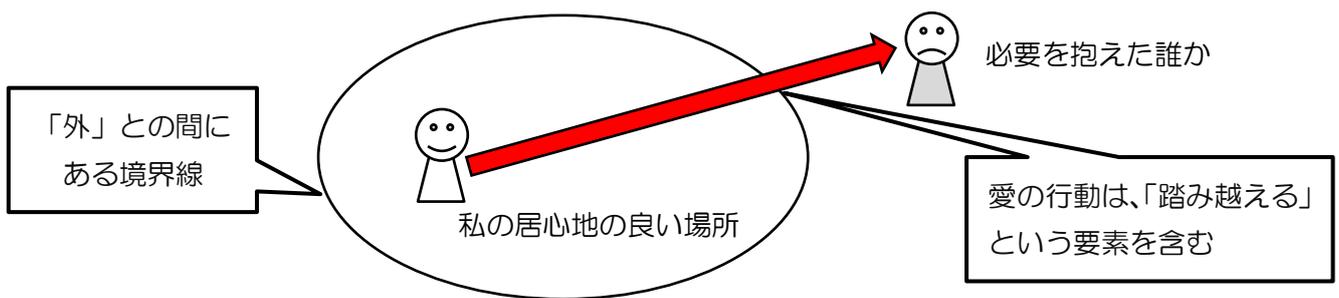
イエス様は律法の専門家の質問に答えていません。「隣人は誰ですか（Who）？」が、質問です。「あなたも行って、同じようにしなさい（Go and Do）。」が答えです。愛する対象は誰か、という質問に対する答えが、行動しなさい、なのです。回答が「ねじれて」います。愛は単なる感情ではなく、「隣人になる」という意図的、主体的な行動である、ということイエス様は教えておられるように思います。

あなたが関心を示し、愛することをしなかったらほかに誰も関わろうとしないような、そのような人が周りにはいるでしょうか？そのような人が、誰の周りにもいるのではないのでしょうか？

もうひとつの質問があります。

その人は、あなたの「居心地の良い場所」の中にいるのでしょうか？それとも外にいるのでしょうか？

90%以上の確率で、その人は「外」にいるように思います。その人が隣人かどうか、が問題なのではありません。その人の「隣人になるかどうか」が問題なのだ、とイエス様は言われているのではないのでしょうか。



私に踏み越える力はありません。怠惰で臆病な者です。それをさせてくださるのは誰なのでしょう？神である方なのに神の御姿を捨てるのが出来ないとは考えず、仕える者の姿をとり、私たちが罪過の中から救ってくださったイエス様を見上げることによってしか、私は自分を「超えて」人々に仕えることは出来ないと確信します（ピリピ 2：6-8）。イエス様を見上げ、頼り、聞き従うことが何よりも大切と思われています。2012年、F V Iは3年目を迎え、個人的な予定としては結婚を控えています。何が起こるか分からない混迷の時代、将来を確約してくれる誰かはいませんし、自分の将来を確実に計画することなど誰にもできません。しかし、私を強くしてくださる方によって、自分自身が「踏み越えて」いくこと、世界中の「踏み越えて」いる人々と繋がり、励まし合っていくこと、これが今、これからの私の働きを方向づける言葉として心の中に響いています。敬愛する皆様と共に、愛する神様のご栄光のために働ける恵みに感謝して。

## 祈りの課題

- ◇私の内側に、「リスクを冒し犠牲を払い仕えるキリストの姿」が形作られるように。
- ◇カタリスト3名のチームワークのため。「なされるべきこと」をし続けることが出来るように。
- ◇F V Iに関わって下さっている個人、教会、海外の団体との関係性の深化、信頼関係の構築のため。

## 今後の予定

月日	内容	場所
12月12日	礼拝でのおはなし	コドモの園幼稚園（世田谷区）
1月15日	礼拝で活動報告	信愛教会（豊川市）
2月12日	セミナー奉仕（内容未定）	御影福音教会（神戸市）
2月25日	隣人を愛する習慣作りセミナー第3回	高座教会（大和市）
3月18日	セミナー奉仕（内容未定）	鎌倉雪ノ下教会（鎌倉市）
3月後半（未定）	震災支援活動	福島県
4月23-24日	F V I 役員会	群馬県万座温泉ホテル
6月18-24日	DNAリトリート	アリゾナ（アメリカ）
断続的に	中・長期の震災支援活動	福島県各地
随時継続的に	国内啓発活動およびフォローアップ	国内各地

## 連絡先

〒443-0013 愛知県蒲郡市大塚町伊賀久保 100-2 国際クリスチャンバプテスト教会内 「陣内俊を支える会」  
Email shun@karashi.net ブログ URL : <http://ameblo.jp/shunjinnai-kingdomcome/>

## 支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援にご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。

- ゆうちょ銀行口座番号 12110-91889141 名義：「陣内俊を支える会」
- 他行からの振込 店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）（089）預金種目：当座  
口座番号：0142825 「陣内俊を支える会」
- 郵貯振替口座番号 00830-1-142825 名義：「陣内俊を支える会」  
（同封の振込用紙がご利用いただけます。）

\*ブログから Prayer Letter をダウンロードくださった方で、振込用紙をご入り用の方、ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方はお知らせください。振込用紙、ご案内を送らせていただきます。

\*2カ月に一度、プレイヤーレターに2枚（2か月分）お送りさせていただく振替口座の振込用紙（赤色・手数料当方負担）を同封させていただきますが、振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。お振込くださるときにご利用ください。

\*Prayer Letter の購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。